

2011年度

科目名	文化財学課題研究(仏教美術の研究)			
担当教員	田中 健一			
配当	文修1・文博1		コード	52070
開期	通年	講時	金曜日2限	単位数 4
授業テーマ	七・八世紀日本仏教彫刻史の研究			
目的と概要	飛鳥から奈良時代に当たる7・8世紀の仏教美術史を考える上では、国際関係の変化、対外美術の受容の在り方、仏教をめぐる諸制度や思想の変化といった問題が重要な論点となる。この授業では、日本を中心に幾つかの造形遺品を取り上げ、この間の問題を考えていきたい。また、受講希望者の関心に従って随時演習形式も取り入れる。			
成績評価法	平常点(20%)およびレポート(80%)によって評価する。			
テキスト	なし			
参考書	適宜配布ないし指示する。			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	【準備学習】予め史料や関連研究を配布ないし指示することがあるので、講義の前に良く読みこなし、説明できるようにしておくこと。			
講義計画				
授業は概ね次の計画で進める予定であるが、受講者の関心の在り方に合わせて部分的に変更することもあり得る。 1はじめに 日本古代仏教造像史をめぐる環境 2隋～初唐期の仏教彫刻史の流れ 3飛鳥時代彫刻史概観 4飛鳥時代後期彫刻史概観 5野中寺弥勒菩薩坐像 (1) 6野中寺弥勒菩薩坐像 (2) 7野中寺弥勒菩薩坐像 (3) 8遣唐使と図像の伝翻 (1) 9遣唐使と図像の伝翻 (2) 10遣唐使と図像の伝翻 (3) 11遣唐使と図像の伝翻 (4) 12大安寺釈迦如来像 (1) 13大安寺釈迦如来像 (2) 14長谷寺銅板法華説相図 (1) 15長谷寺銅板法華説相図 (2) 16長谷寺銅板法華説相図 (3) 17長谷寺銅板法華説相図 (4) 18法隆寺五重塔塔本塑像群 (1) 19法隆寺五重塔塔本塑像群 (2) 20法隆寺五重塔塔本塑像群 (3) 21法隆寺五重塔塔本塑像群 (4) 22捨身思想とその造形 (1) 23捨身思想とその造形 (2) 24捨身思想とその造形 (3) 25捨身思想とその造形 (4) 26山林仏教と関連造像 (1) 27山林仏教と関連造像 (2) 28山林仏教と関連造像 (3) 29山林仏教と関連造像 (4) 30まとめ				